

# 社会福祉法人 市川町社会福祉協議会

## 平成 27 年度 事業報告

### 法人運営事業

#### 法人運営事業

##### 理事会、評議員会の開催

理事会、評議員会を開催しました。

##### 評議員会の開催

3 回開催・・・4/30、5/28、3/30

##### 理事会の開催

3 回開催・・・4/30、5/28、3/26

##### 社協会費の納入

社協の貴重な自主財源である社協会費の納入を町民の皆さんに依頼しました。会費の使途を広く周知することで、皆さん一人一人が社協活動に関心を深めていただくと共に、財政面から会費という形で社協活動に参加していただきました。

社協会費（10 月）1,815,500 円

##### 各福祉団体の事務（老人会、身体障害者福祉会、婦人共励会、手をつなぐ育成会）

各種福祉団体の事務を行いました。各会では、会員間の情報の共有や親睦、福祉制度等の研修や関係団体への働きかけなど、福祉の充実に向けて取り組んでいます。

##### ホームページでの広報

行事案内や募集記事、活動の報告等を掲載し、社協活動に関する情報を発信し、町民の皆さんに活動への理解と参加を促しました。

# 共同募金配分金事業

## 共同募金配分金事業

### 共同募金運動の推進

赤い羽根共同募金運動（10月～12月）、歳末たすけあい募金運動（12月）を各区長様のご協力のもと推進し、募金の使途を広く周知することで運動の理解を促しました。また、町内中学校に協力を要請し、街頭募金活動、広報活動を展開いたしました。

赤い羽根共同募金	2,025,371 円
歳末たすけあい募金	2,433,449 円

### 福祉活動への助成

募金による配分金で、サロン活動、福祉団体の活動、ボランティア活動、学校の福祉学習活動を支援し、財政面からサポートしました。サロン活動については、助成に係る要綱を見直し、さらに実態に合致したサポートに取り組みました。

ふれあいサロンへの活動助成	27 区
福祉団体への活動助成	5 団体
ボランティアグループへの活動助成	20 団体
学校での福祉学習への活動助成	7 校

### 社協広報誌等の発行

社協広報誌等を発行し、全戸配布しました。	
市川町広報に情報提供	毎月 1 回
「福祉いちかわ」の発行と配布	年 6 回
高齢者番付表の発行と配布	9 月に発行 全戸配布

### 歳末見舞金配布

在宅の重度身体障害者（1・2級）、知的障害者（在宅の手をつなぐ育成会員）、生活保護世帯、準要保護児童・生徒等の方を対象に歳末見舞金を配布しました。  
対象者 337 名 1,663,000 円

### サマースクールの実施

町内の小学生 4、5、6 年生を対象に夏休み期間中に福祉体験学習を開催しました。誕生日ありがとう運動本部による古切手を活用した福祉事業の紹介と切手を使ったしおり作製、また兵庫県広域防災センターにて地震体験と火災非難体験をし、福祉と防災への理解を深めました。参加者 22 名

### 体験講座の実施

ものづくりやレクリエーション等の体験講座を開催し、地域や世代間の交流を促進しました。

しめ飾りづくり講座 15 名参加

ふれあいサロンのためのレクリエーション入門講座 29 名参加

## 善意銀行運営事業

### 善意銀行運営事業

#### 善意銀行の事務

町民の皆さんからの善意の預託を受け付けしました。また、預託いただいた金品を活用し、町の福祉向上をすすめました。

善意の預託 のべ 55 件 512,011 円

#### 善意の日募金運動の推進

兵庫県では、6 月 1 日を「善意の日」と定め、福祉活動が展開されており、市川町社協においても各区長様にご協力いただき善意の日募金を推進しました。また、募金の使途を広く周知することで運動への理解を促しました。

善意の日募金 1,065,000 円

## ボランティアセンター運営事業

### ボランティアセンター運営事業

#### ボランティア人材の発掘、養成

ボランティア講座を実施し、ボランティア人材の発掘、養成を行いました。

災害ボランティア研修 (町行政、NPO 法人コムサロン 21 と共催) 3 回

要約筆記入門講座 6 回

#### 学校での福祉学習の推進

学校での福祉学習について、講師の紹介や職員の派遣、物品の貸出等の支援を行いました。

講師の紹介 6 回

職員の派遣 4 回

学校への備品 (車いす等) の貸出 9 回

### ボランティア連絡協議会の事務

町内のボランティアグループ間の交流を図り、さらに有意義な活動をしていただけるよう支援しました。

代表者会議の開催 2回

清掃活動（甘地駅～役場周辺道路）4/23

市川町商工祭に参加 各グループの活動を掲示し、収益金を善意銀行へ  
マラソン大会での湯茶接待の実施 2/21

ボランティア共済、県民ボランタリー活動助成の事務手続き  
各種福祉行事への参加 3回

### サロン活動への支援

町内各区で行われているサロン活動を支援しています。職員やボランティアの派遣、物品の貸出などを行いました。

ボランティアの紹介 4回

職員の派遣 17回

レクリエーション用具の貸出 16回

### 地域福祉活動に関する研修

福祉委員さん、民生委員さんを対象に、認知症理解についての研修会を開催し、地域での見守り活動を啓発しました。42名参加

### 災害ボランティアセンターに関する取り組み

災害時の活動について町行政と話し合い、連携の方法と社協の役割を確認しました。また、社協災害救援マニュアルを作成し、ボランティアセンターの開設と運営の手順について取り決めました。

## 地域福祉事業

### 心配ごと相談所事業

毎週金曜日午後1時～3時、市川町役場前の就業改善センターで様々な心配事を受け付ける相談所を開設しました。町内の民生委員さん、人権擁護委員さん、行政相談員さん、社会教育委員さんに相談員としてご協力いただきました。また年に3回総合相談を行政との共催で開催し、その際には弁護士への相談も受け付けました。

心配ごと相談の実施（毎週金曜日）46回開催

総合相談に参加 3回（弁護士、法務局職員も相談員として参加）

## 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金とは、低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯などで一時的に生活に困窮している世帯に対し、その必要な費用の一部の貸付を行う制度です。社協では、貸付の窓口になり、相談支援を行うことで、社会参加の促進を図りました。

貸付件数 1 件 相談件数 10 件

## 母子金庫運営事業

母子世帯への資金貸付窓口となり、必要な費用の一部の貸付や相談支援を行うことで、その世帯の社会参加の促進を図りました。

貸付件数 0 件 相談件数 0 件

## 準保護支援事業

### 夏季見舞金配布

在宅の重度身体障害者（１・２級）、知的障害者（在宅の手をつなぐ育成会員）、生活保護世帯、準要保護児童・生徒等の方を対象に夏季見舞金を配布しました。

対象者 337 人 1,094,000 円

## 善意の福祉機器貸出事業

介助が必要な方に福祉機器（車椅子、介護用ベッド）を無料で貸し出しました。ただし、介護保険の福祉用具レンタルの制度が利用できる方（介護度 2、3、4、5 の方）は介護保険を優先して利用していただいております。

また、独り暮らしに不安のある高齢者のご自宅に緊急信号を発信する装置を設置しました。装置のボタンを押すと、あらかじめ登録された複数の電話（身内の方や、ご近所の方）に緊急信号が発信されます。貸出は無料ですが、屋内の配線を行う場合やリモコンなどを利用される場合は、5000 円～15000 円程度の実費負担となります。

車いす 長期 13 回 短期 43 回、電動ベッド 長期 5 回、安心コール 1 件

## 福祉車両貸出事業

介助が必要な方に車いす対応型福祉車両を無料で貸し出しました。

貸出回数 20 回 実利用者数 10 名

## 福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安のある方が、地域で安心して暮らせるよう援助しました。

- 1) 福祉サービス利用の援助
- 2) 日常的な金銭管理の援助
- 3) 通帳、印鑑のお預かり

## 給食サービス運営事業

独り暮らし、高齢者のみの世帯で自炊が難しい方に、安否の確認の意味もこめて月に 3 回お弁当を配達しました。調理はボランティアさんに、配達には民生委員さん、ボランティアさんにご協力いただき、味や栄養、衛生面を考えた事業運営につとめました。

利用料 1 食につき 300 円

27 回実施（7～9 月は休止）2919 食（うち生活保護世帯 144 食）

## 介護予防事業

認知症予防に効果のある学習療法の教室を毎週火曜日に開催し、学習の習慣化を図りました。毎週の集まりが仲間づくりや交流の場となり、受講者からも好評を得ております。さらに受講者とその学習を支援するサポーターを増やし、安定した教室の開催を図ります。

開催回数 23 回（9 月～2 月まで開催）

のべ受講者数 164 名（実受講者数 9 名、サポーター数 10 名）

## 町受託事業

### 福祉タクシー事業

身体障害者手帳 1・2 級、および療育手帳 A 判定をお持ちの方に福祉タクシー券（初乗り券）を発行しました。事業の契約を結んでいる近隣のタクシー会社で利用でき、1 人あたり年間最大 48 枚の利用ができます。

実利用者数 25 名 325 枚の利用

### 家族介護用品支給事業

住民税非課税世帯の介護度 4・5 の高齢者の方に介護用品を支給しました。

実利用者数 4 名

## 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

住民税非課税世帯の介護度 4・5 の高齢者の方の寝具をクリーニングしました。  
実利用者数 1 名

## 外出支援サービス事業

高齢者のみの世帯や、独居の身体障害者 1・2 級の方を福祉車両で自宅から病院まで送迎しました。中山間地である市川町において、当事業は需要が高く、できるだけ多くの利用者の要望に応えられるよう努めました。利用料は町内の往復 500 円、神河町、福崎町への往復 600 円です。

のべ 1025 回送迎（うち生活保護世帯 12 回） 57 人の利用

## 身障訪問入浴事業

自宅の浴槽での入浴が困難な身体障害者の方を対象に、訪問入浴車での入浴サービスを行いました。

対象者 2 名 のべ 200 回実施

## 介護保険等事業

### 居宅介護支援事業

介護保険サービスを利用するための計画（ケアプラン）を作成しました。利用者の思いを聞きながら、その人の身体状況や周囲の環境に合わせた最適な計画を作成し、サービスを円滑に利用できるよう関係機関との連絡調整を行いました。また、近隣の方々にもご協力いただき、地域ぐるみの支援を行いました。

### 訪問介護事業

要支援・要介護の高齢者の方が、可能な限り自立した生活を送ることができるよう、訪問介護員が家庭を訪問して、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）を行いました。

## 訪問入浴介護事業

自宅での入浴が困難な要介護の高齢者を対象に、訪問入浴車での入浴サービスを行いました。具体的には、ご自宅のベッドのそばに浴槽を運んで、車内のボイラーで温めたお湯を使って入浴の介護を行います。市川町内では、本会のみが当事業を行っており、自宅の浴槽での入浴や移動が困難な方にとって、重要な事業となっております。また、平成 28 年 3 月に 24 時間テレビより、新たに入浴車を寄贈していただきました。

## 障害者福祉サービス事業

### 障害者相談支援事業

障害（身体・知的・精神）のある方の、仕事や生活、将来等様々な相談に応じ、その上でご本人の心身の状況、周囲の環境等に合わせて、福祉サービス利用計画を作成しました。また、サービスを円滑に利用できるように、関係機関との連絡調整を行い、利用者のニーズをこまめに収集するよう努めました。

### 障害者訪問介護事業

介護が必要な身体障害者の方の生活を支えるため、訪問介護員が家庭を訪問して、食事介助、排泄介助、入浴介助、更衣介助、整容、身体の清拭等の身体介護と、掃除、ゴミ出し、洗濯、買い物や薬の受け取り等の生活援助を行いました。